

病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ニセナシサビダニ No.1)

平成24年5月25日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

ニセナシサビダニの発生時期は遅く、発生量は少ない。

2. 情報の根拠

- (1) 5月下旬現在、県予察ほ場におけるニセナシサビダニの葉当たり個体数は1.4頭(平年:120.5頭)で、発生時期は遅く、発生量は少ない(表1)。
- (2) 向こう1か月の気象予報によると、発生盛期は平年並～やや遅い6月中下旬頃と見込まれる。

表1 ニセナシサビダニの発生活動(園芸試験場)

月・旬	本年	平年
5・上	0	0.4
5・中	0	37.5
5・下	1.4	120.5
6・上		617.0
6・中		785.9
6・下		1,116.1

注) 殺ダニ剤無散布ほ場, 1葉あたり寄生個体数(3樹10葉調査)

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 近年、ニセナシサビダニの発生時期がやや遅いが、密度増殖が著しい種(ハダニ類、サビダニ類など)は、発生初期の防除(初期密度の低い時点での防除)が重要であること、ニセナシサビダニ被害の多少は新梢停止期の早晩の影響が大きいことから、防除時期は本年の生育状況にあわせて実施する。
- (2) 第1回目の防除は、発生初期の5月末頃を目安に実施する。薬剤はダニトロンフロアブル1,500倍液、コテツフロアブル3,000倍液などを使用し、本種が寄生している新梢先端部に薬液が十分付着するように散布する。
- (3) 第2回目の防除時期は、6月中下旬頃と見込まれるが、今後の情報を参考にする。

(参考)

表2 ニセナシサビダニの葉あたり寄生個体数の推移

[2010年]			[2011年]		
月・旬	対照 (無散布)	試験区* (5下・6中散布)	月・旬	対照 (無散布)	試験区** (5下・6中散布)
5・上	0.2	0	5・上	0	0
中	0	0	中	0	0
下	0.2	0	下	0.4	0
6・上	10.0	0.2	6・上	9.4	0
中	937.2	15.2	中	517.2	0
下	898.8	2.8	下	1342.8	0.6

*5/28、6/16にハチハチフロアブル×2,000を散布

**5/31、6/21にハチハチフロアブル×2,000を散布

〔概要〕近年、ニセナシサビダニの発生時期がやや遅れているが、5月末及び6月中下旬の防除を実施することで、本種を低密度に維持することができる。